

no.	資源は？	体験してもらいたいことは？	何がすごい？	魅力のフレーズ抽出	体験分類番号
1	富士山信仰	タイムトラベル 古きを知り、新しくを知る	富士山信仰の魅力は、実はINGでまだなくなっていない文化、ダイナミックな時間帯を体得できる	・富士山信仰	④信仰
2	・富士山の湧き水 ・富士山の養蜂の歴史 ・豊富な水生生物の存在	左記のようなことをガイドしつつ、冷たい湧水に触れ、ニジマス釣りを自分でさばいて焼いて食べる。	・東京都の人が1年間使う水の量よりも多くの20億トン以上の湧水が出る!! ・その冷たさを足で感じると、その環境の中で生きている生物のすごさがわかる ・多くの水生生物の食物連鎖の上に立つ肉食魚と釣りという方法で知恵を比べ、 ・自分でさばくことで「命をいただくこと」のありがたさを知る。 ・そのきれいな水環境を守るために、人の暮らしの中でできる工夫を知って人と水のつながりに思いをはせることができる。	・20億トン以上の湧水 ・命をいただく ・人と水とのつながり	②地域文化体験 ⑨生き物
3	樹海付近や、富士を愛でながらの軽いハイキングやトレッキング	四季折々よいですね。ダイヤモンド富士も！しかし、富士山の美しさや、クマのリスクも考えると真冬!!が一番春、秋はもう少し充分	樹海の成り立ちや、それにまつわる信仰のストーリーはもちろんですが、何より生命力にあふれる森 日々の喧騒から離れ、心が癒える、森の癒しを感じて頂きたい また、ハイキングなどで、開けた空と雄大な富士を目の前にして、自分も自然の一部であり、こういった環境を次世代に残していけるようにしなければならぬと肌で感じて頂きたいです。	・樹海は生命力にあふれる森 ・森の癒し ・雄大な富士山 ・人も自然の一部 ・次世代へ継承	⑥景観 ⑦火山・樹海・洞窟 ⑩トレイル体験・社会貢献
4	本栖湖 d カヤック・SUPの体験	湖水の透明度、神秘的な風景	旧千円札のモデル地 写真家岡田紅陽の1枚の写真 岡田紅陽は富士山を「フジコ」と呼んであたかも恋人のような想いで撮影していた	・お札のモデル地 ・岡田紅陽	⑥景観
5	本栖湖 d カヤック・SUPの体験	透明度、深さ	湖水の透明度が高いので、沈木が数多く見える 魚も寄ってくるエリアもあり、カヌー、SUPの楽しさだけではなく自然も楽しめる。	・透明度 ・沈木	⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験
6	①東海自然歩道 ②吉田の火祭り ②ー2富士講 ③奇生火山（本栖湖より）と御坂山地	①1つとして同じではない様々な表情の富士山と生物多様性、人の暮らしを感じてほしい。 ②他はない祭り、活気、②ー2 ③大地の営みのダイナミックさ	①東海自然歩道を歩くことでしか見れない富士山、コケむした道、鳥のさえずり、原生の植物（青木が原の樹海）、なにげない人々の生活、出会い、作られた観光地ではないホンモノ、オーセンティックな日本を知れる。 ②富士山の噴火を鎮める。歴史と信仰 ③太平洋の島々から富士山を築く大火山群が感じられる。	・苔むした道 ・原生的 ・オーセンティック ・カヌー、SUP、E-Bike ・火山帯	②地域文化体験 ④信仰 ⑦火山・樹海・洞窟
7	富士山グレートジャーニー 東海自然歩道をふくめて（色々な方法で）5年間かけてずすんで行く。	夏〜秋（7月〜11月）水プログラムは気温で考える 水なしなら秋〜冬 3〜5日間 河口湖→富士宮駅	・河口湖で吉田うどんを打ってたべる ・五湖台→三湖台で樹海をふかんする→洞窟入洞→樹海を歩く ・本栖湖はカヌーorSUPで渡り（テント泊）（本栖ブルー） ・朝霧エリアはE-Bikeで進み、ソフトクリームを食べる。 ・陣馬の滝エリアは川の中を歩き、ニジマスの掴みどりをしてたべる。 うどん、ジビエ、ほうとう、ソフトクリーム、ワサビ、ニジマス、イクラ、有機野菜、くだもの	・吉田うどん ・樹海 ・本栖ブルー ・カヌー、SUP、E-Bike ・五湖台、三湖台 ・ニジマス、ワサビ、有機野菜、ソフトクリーム、ジビエ	⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑩トレイル体験・社会貢献
8	馬返〜合目〜五合目（クラシックルート）の紹介 馬返〜御中道〜御殿のトッレッキングルート	富士山に始まる古のルート 江戸時代からの歴史の遺構にふれる。原生弥のコース（東海自然歩道の延長コース?）	・富士登山と言えば、スプリラインを車で登り、五合目から頂上まで石と砂の山を登る辛いイメージ ・このコースを体験する事で既に登頂経験者の富士山へのイメージをチェンジさせる（一合目〜頂上までの完璧コンプリート） リピーター ・富士山の多様性と四季の違いを感じるコース（冬季NG）	・多様性 ・コンプリート	④信仰 ⑩トレイル体験・社会貢献
9	・地元の人ができる穴場カフェ ・地元のかせあい店主	ペンションで泊まったあとにかんこうやくにたべてもらう	・あまり人が多くなくて、山梨ならではのふれあいがながら飯をたのしめる。	・人とのふれあい	①食文化体験 ②地域文化体験
10	鳴沢村 おやき	道の駅でおやきや天ぷら	ふじさんのロケーションがとても良い おいしいご当地グルメをたべながらふじさんをみれる！	・ロケーション ・ご当地グルメ	①食文化体験
11	なるさわ菜→おやき 鳴沢村	夏以外、鳴沢村、 対? 誰でも、鳴沢村の食材	まず、形が平たいので薄い。作り手は地元の婦人会。 鳴沢村は美味しい野菜が多く、その中でも「なるさわ菜」が自慢。おやき作り体験をして、日帰り温泉「ゆちり」につかり鳴沢村を楽しむ。 ※夏はブルーベリー狩りが出来るのでじゃム	・おやき作り ・なるさわ菜 ・温泉 ・ブルーベリー	①食文化体験
12	野菜の活用	季節毎	道端に生えている野草（雑草）を用いたい地域での暮らしの知恵があり、食用や工芸品など多岐に渡るので、現代でも利用できてそうなものは活用し、アップデートして新たな活用法にすることが可能。 例) イタドリ→食用・痛み止め、ムラサキ、ツクササ→食用、染みもの	・野草の効能 ・暮らしの知恵	①食文化体験
13	富士山本宮浅間大社 酒蔵	春（桜が咲く時期） 富士山本宮浅間大社でお花見 酒 飲み歩き→酒蔵めぐり	・500本の桜の木が奉納されている ・富士山8合目以上は奥宮境内地になっている ・古来富士山は富士山本宮浅間大社の御神体として崇められる神聖地である ・富士山に酒蔵が4つある→富士山伏流水を使用	・500本の桜の木（奉納） ・奥宮 ・富士山本宮浅間大社 ・酒蔵 ・伏流水	①食文化体験 ②地域文化体験
14	忍野村の桂川、スプリングクリーク（湧水の川のこと）、ここから眺める富士山もきれいな	釣り（フライフィッシング） 禁漁期以外 ハイキング 観光（歴史的な）	1981年、39代アメリカ大統領ジミー・カーター氏が1981年に来日の際、計画にこれにフライフィッシングをしに来た日本のフライフィッシングのメッカのひとつ。 すぐ脇に東海自然歩道も沿っているため、クリーク沿いのハイキングも楽しい。 また観光地として有名な忍野八海、美しい水を使ったそば屋なども楽しめる。	・フライフィッシング ・忍野八海 ・桂川（クリーク）	②地域文化体験 ⑦狩猟 ⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験
15	足和田山、自然、風景を楽しめる	HIKING歩く旅の感じ	ものすごく簡単に山のはしからはへ歩けてしまう。 風穴→紅葉台→三湖台→五湖台→大風天神社→羽根山→かつやま 観光地 風景 歴史 歴史 みちのえき 樹海 湖の見える数 富士山が個人的に一番綺麗	・樹海 ・風穴 ・山のはしからはへ歩ける	⑥景観
16	本栖湖の水 ・溶岩帯、沈木、湧水 ・縄文、古墳時代の土器 ・丸木舟（鎌倉時代）モトスマリモ	スキューバダイビング（高所火山口ルモ） 初夏〜秋（6月〜10月）	富士山の麓で潜る事が出来る本栖湖の水 は高所でダイビング（900m）の聖地として様々な魅力があります。富士山から流れ込んだ溶岩帯や富士山からの湧水（約2000mから）沈木などの地形が豊かで歴史的には縄文土器や古墳時代での土器が見つかっており、つい最近（2024/10）にも古墳時代前期（4世紀）の土器が見つかったり、新たな種のマリモ（マトスマリモ）が発見されたり、話題に尽きません。	・ダイビングの聖地 ・マリモ（マトスマリモ） ・縄文土器 ・古墳時代 ・湧水	②地域文化体験 ⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑦火山・樹海・洞窟
17	本栖湖アート館（観光案内所併設）	1年中 いまのところ ※（冬期は閉館）（1月〜3月）	本栖湖の観光案内所は、以前は、資料やパンフレットetcの案内にのみでしたが去年よりリニューアルされ、現在は様々なARTISTの方々が集まり（画家、陶芸家、書道家、音楽家etc）定期的にフュサートを開催。常時、アーティストの作品は観覧できるようになっています。	・アーティスト ・フュサート	②地域文化体験
18	1.富士吉田のまち 2.アカマツ林（かつて） 3.溶岩洞穴内でかいこ保存	・織物（最新と昔から伝統的なものも） ・うどんをこねてうってたべる（織り手の女性にかかわって男性がうどんをこねていた背景） ・溶岩洞穴内の散策（天然の冷蔵庫体験） ・今の景観の背景に人の利用があることを知る	絹織物という生業をテーマに地域の文化、食、自然をつなぐツアーである。	・絹織物	①食文化体験 ②地域文化体験 ⑦火山・樹海・洞窟
19	・野生動物 ・星 ・たきび ・ジビエ、ワイン	・夜をたのしむ ナイトワーク ・7月中旬〜下旬 ・野生動物とのそうくう ・地元の食体験	・夕方にかけて、特別なゆったり時間、ぜひ様々な時間・体験を提供する ・活発になる野生動物（シカ、ムササビ）の観察 ・量産かんさつ ・たきび（キャンプ場内）を囲んだジビエ食卓+ワイン（さきみたシカを食べる） ・ふじさんの登山家のヘッドライトのあかりを見る	・特別なゆったり時間、賢沢時間 ・シカ、ムササビ ・ジビエとワイン	①食文化体験 ③狩猟 ⑧夜 ⑨生き物
20	・東海自然歩道 ・地元のハイキングコース ・地元トレイル（山道）コース	・バトンリレーハイキング ・ゴミひろい	・バトンリレーすることで前の人とのつながりができる（ハイカー） ・ゴミひろい券を発行しm量に応じて地元食卓券がもらえる ・リピーターを増やせる 宿泊割引券がもらえる 新参加者	・ゴミ拾い（券）	⑩トレイル体験・社会貢献
21	樹海	四季それぞれの風景	・樹海は手つかずの自然が残っている 国立公園特別保護区で人の開発から守られている ・春は新緑、夏は深緑、秋は黄葉、紅葉、落葉 ・冬はこもれ日、積雪 1年でしか見られない1年通しの魅力の発見 ・渡り鳥が多くいる ・四季を楽しむとより愛着が生まれる ・毎年くると自然の変化が変わる（木が大きくなる、木がたおれる、新芽が出るなど）	・国立公園 ・渡り鳥 ・自然の変化 ・四季	⑦火山・樹海・洞窟
22	富士山五合目（御中道、森林限界）	・御中道トレッキング（頂上には目指さない） ・外来性植物 防除 駆除 ・0合目〜5合目 富士山登山	・富士山成生の過程 ・森林限界エリアでの植物の生存戦略 動物 ・世界に冠たる富士山で自然保全を学び、実践	☆奇跡の物語 ・富士山の成立ちの過程 ・森林限界 ・生き物の生存戦略	⑩トレイル体験・社会貢献

23	富士山が育んだ人の営み 富士吉田編 ハタオリ、うどん	・街あるき ・ハタオリ体験 ・うどん作り ・スナックママ体験	富士山の湧水（雨水、浸透、ろ過、湧水-海のじゅかん） ↓ 織物産業発展→飲み屋街隆盛 ↓ ダムおやじ→うどん作り ※増加減など雑なので堅い ☆キレイなだけじゃない富士山の一面、ヒトの営みとのつながり	・水の循環 ・織物産業と街の変遷 ・人の営み	①食文化体験 ②地域文化体験
24	本栖湖の美しさ 中ノ倉峠からの富士山ビュー	サイクリングでポイントをつないでローカル、食、文化、自然、体験を体験する	自転車だと1日で富士山1周できるくらい行動距離が伸びる。ただ、ひと筆書き的に通りますすぎてしまうだけではこのエリアの魅力を感じきれないのでは？（重要な資源が140も繋がっているのに！） 自転車×トレッキング×○○ とストーリーをつけた色んな体験コースがあると良いのでは？	・サイクリング×トレッキング×○○ ・ストーリーと体験	①食文化体験 ②地域文化体験 ⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑥景観
25	ザ・東海自然歩道!!	じつは・・・意外なところを通っていたりする・・・ 住宅街とか国道沿いとか・・・ 道標を見失うとか・・・	長距離トレイルなので、ちょっと長く歩いてみると、みんなで道に東海自然歩道のミリョクを発見できると思う.... ・世界遺産センター⇔浅間神社は国道沿い... ・忍野は川沿い...etc ゴールを“おいしいものや”景色の良いところ”とすると...自然歩道って!!とすごさが感じられるのでは？	・ロングトレイル ・東海自然歩道	⑩トレイル体験・社会貢献
26	11 川尻金山（本栖湖）	「武田の軍資金だった？」 ・抗道までをトレッキング ・実際に採取した砂で砂金を探す	もしかしたら「金」が出るかも？！ 本栖湖の湖底に「金」が？！ ロマンがある。	・金（砂金） ・ロマン	②地域文化体験
27	樹海（春）山中湖周辺（秋） 朝霧高原（夏）浅間神社の東海自然歩道	春・夏・秋・冬の4回に分けて東海自然歩道の四季を感じてもらいたい	東海自然歩道を断片的に体験するのではなく、1年間で4つのツアーを行う 全部のツアーに参加する人は絶対いる 夏の朝霧高原はキャンプにする（アイスクリーム付）	・朝霧高原 ・アイスクリーム	②地域文化体験 ⑦火山・樹海・洞窟 ⑩トレイル体験・社会貢献
28	富士山とその周辺の山々から由來する豊富な湧水	湧水を軸にしたウォーキング、その水に支えられたくらしや産業にふれる	陣馬の滝、小田貴温泉、集落内に点在する湧水地などウォーキング中にたくさん水にふれられる。 そこで様々なくらしの工夫や産業にもふれられる	・陣馬の滝 ・小田貴温泉 ・暮らしの工夫 ・産業	②地域文化体験 ⑩トレイル体験・社会貢献
29	39、40 サイクリングコース（昼夜） 富士山一周、朝霧高原エリアの牧草地を富士山、夜空と黒富士	無回答	・一切の光がない（月明かりのみ）にうかがふ黒い富士山と満天の星空を是非見て頂きたい。 ・昼のサイクリングは食べて休んで・・・ ・多くのスポットがあります。ちょうど良い間かくで。 ・キャンプなど宿泊しながら	・月明り ・黒富士 ・満点の星空	⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑥景観 ⑧夜
30	北斎も歩いた「身延道」。江戸から日蓮宗本山への道。（東海道歩道との繋がりが）	・富士山を登らず 北斎の様に山麓を歩き、富士を愛でる”旅”TABI ・ターゲット：フランス人、英国人	・欧米の人たちは、日本人以上に北斎を愛している。（特に仏と英） ・1867年のパリ万博がきっかけ。 ・北斎の前に河村眠齋(かわむらみんせつ)が身延山までの道を富士と繋げた『百富士』からインスパイアされて「富士三十六景」が作られたと言われている ・富士宮を含め、山梨（身延）、大目峠などが絵書に描かれている。 ・富士山はアートあつての『世界遺産』	・葛飾北斎「富士三十六景」 ・パリ万博 ・河村眠齋 ・世界遺産	②地域文化体験 ⑩トレイル体験・社会貢献
31	・三湖台からの樹海の景色 ・紅葉台展望レストランからの富士山の景色	秋の早朝に三湖台や紅葉台でホットコーヒーを飲みながら、樹海、富士山、河口湖、西湖を眺めながらその成り立ちを知りたい。	・山麓から富士山の頂上までを少しふかんてみることで、植生の変化が分かる!! ・舟沢山地を背景に富士吉田の市街地を鳴沢村をみれて人と自然の暮らしや共生を想像できる。 ・富士の樹海の針葉樹（ツガ、ヒノキ）が生い茂っており、深くシンとした緑が神秘的 ・富士五湖のうち、3つが見れるので、水と大地（もう少し分析したい）の関係が見れる。←これらのストーリーを全部見れる!! 風景としての価値	・標高ごとの植生の変化 ・人と自然の共生 ・風景としての価値	⑥景観 ⑦火山・樹海・洞窟
32	無回答	63 樹海を外から中から通年、3〜4時間 鳴沢水バレー三湖台→こもり穴を歩くツアー	貞観の噴火で流れた後に出来た樹海、溶岩が流れなかった紅葉台、三湖台の山を歩き、そのちがいを比較しながら樹海の特徴を見てもらう。地面の下の様子、地上の様子、空から（三湖台）から見た様子を紹介する。 地面が洗いため、住めない動物がいる。水がないので、人間は住めないetc	・噴火 ・溶岩 ・樹海の特徴	⑦火山・樹海・洞窟
33	吉田口登山道（信仰の道） 精進口登山道（観光登山道） 中道往還・若彦路・鎌倉往還（歴史の路）	富士吉田〜5合目（小御岳）→精進湖→忍野〜山中湖とつなぐ タイムスリットトレッキング	・吉田口登山道で富士講の歴史と富士登山と歴史を知る ・新しい登山道である精進口登山道で自然保護と元祖インバウンド ・戦国時代の武将や行商が歩いた道の痕跡をたどり、富士北斎の歴史といくしえの人々の生活を知る ・できたら船津口登山道とケイウ道のルートも探る	・富士講 ・道の痕跡	②地域文化体験 ④信仰 ⑩トレイル体験・社会貢献
34	電ヶ岳、本栖湖、旧千円冊の富士（中ノ倉峠）中道循環（古道）ほうとう	電ヶ岳から雨ヶ岳〜中ノ倉峠を歩いて富士山、駿河湾、本栖湖、南アルプスの展望を楽しむ 下山後は本栖湖でcampしてほうとうを食べる。 翌日はSUPやカヌー等の水上アクティビティを!!	・電ヶ岳から雨ヶ岳は、富士山や富士王様の展望のみならず、南アルプスや駿河湾まで見渡すことができる。 ・甲府から駿河湾までつながる中道往還の歴史を感じることが出来る ・ハイキング、歴史、食、遊び、泊まりがギュッと楽しむことができる。 ・夏場であれば雨で富士山が見えなくてもSUPで遊ぶことができるよ ・日本有数の透明度をほこる本栖湖（透明度11mくらい）？火によるクレーターも見ることが出来る。	・電ヶ岳、雨ヶ岳 ・中道往還 ・本栖湖の透明度 ・クレーター	①食文化体験 ⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑥景観
35	・季節毎に異なる足屋の小さな草花、植物（樹海エリア、三湖台エリア） ・たくさん落ちているボイ捨てゴミ（市街地および国道エリア）	・富士山を眺めるだけでなく、その足許で展開されている多様な生物の活動に目を向けよう。 ・どうしてこんなにたくさんのゴミが捨てられているの！？ （ゴミ箱散策非設置の区間多い）	・同じ場所でも、季節によってちがう植物が生えている 地面の下はどうなっているの？他の種との関係は？・・・等 → ・人間の生活と隣接、エリア共有していることを 足許の地面に注目することで改めて認識。 →ゴミを捨てない意識を育む。 下を向いて歩こう！	・人間の生活と隣接 ・足もと	⑦火山・樹海・洞窟 ⑨生き物 ⑩トレイル体験・社会貢献
36	青木は？樹海	なんだろう？ ・トレッキングではない層へのアプローチって何があるだろう？ 例) ・アニメとコラボ？ ・VR体験？ ・ゴルフカートのようなのんびりモビリティドライブ？	・溶岩の上にできている森 ・岩からはじまっている自然の生態系は独特（生態系がざっくりと説明しやすい） ・信仰が根付いている森（洞穴、ほころ、神社） ・季節により違う顔がある。 ・天気によっても見え方も印象も異なる。 ・専門家についていくと何回行っても ・外から見る樹海・中から見る樹海	・溶岩大地の上の森 ・岩からはじまる生態系 ・信仰 ・洞くつ、ほころ、神社	⑦火山・樹海・洞窟 ⑩トレイル体験・社会貢献
37	獣	・獣と人の境界ってどこ？何？を+C38知る。 ・学校では教えてもらえない”生と死”、”命を頂く”というリアルコンテンツの宝库。 ・ジビエセンターもできたが、西湖	・獣と人の境界ってどこ？何？を知る。 ・学校では教えてもらえない”生と死”、”命を頂く”というリアルコンテンツの宝库。 ・ジビエセンターもできたが、西湖周辺地域の森や山を活かして実体験を得られる場がある。 ・猟師さんも、さばく人も、調理する人も、皮を活かす人もここにはいる。	・ジビエセンター ・生と死、命を頂く ・狩猟の生産、ネットワーク	③狩猟 ⑨生き物
38	水、標高	・登山 ・ダイビング	泉ヶ滝から本栖湖（ダイビング）、湧水（地下水）の流れを体験...（新しい提案です）	・泉ヶ滝 ・湧水（地下水）の流れ：水の循環	⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験
39	三湖台からの樹海の景色	天候に左右されない眺望の魅力	晴れの日：富士山と広がる樹海 くもりの日：幽玄な雰囲気 雨上がりの日：雲のすき間からの太陽の日差し	・樹海 ・幽玄	⑥景観 ⑦火山・樹海・洞窟
40	草原、樹海、神社、滝、織物...	変化とつながり	富士山麓の東海自然を歩くことで見える感じる変化 草原 樹海 ←人とのつながり 火入れ、養蚕、神社（信仰） うどん 織物 かいこの神様とコノハナサクヤヒメ同一	・火入れ ・養蚕 ・織物 ・コノハナサクヤヒメ	②地域文化体験 ⑥景観 ⑦火山・樹海・洞窟
41	湖・河川・水・湧水	水に触れる 触る 飲む 潜る 泳ぐ 冷を感じる 水中を見る 釣	・人間以外も生活に欠かせないものとして、富士湧水はなくてはならないもの→それを利用しているのを見られる ・豊かな水を養殖漁業に利用 ・天然水、温泉 ・希少な生物のすみか ・ワサビの生育	・養殖漁業 ・天然水 ・温泉 ・希少な生物のすみか ・わさび	③狩猟 ⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑥景観
42	文化、歴史	富士山の歴史 神話 木花咲那姫、ニギノミコト	木花咲那姫と海幸彦、山幸彦、宮崎、九州との関り 富士山でつながる地方との神話 コノハナサクヤヒメ祀られる神社、伊勢神宮、宮崎木花神社、高千穂神社、新田神社、今治・・・	・神話 ・神社	②地域文化体験
43	風景、地元の人とのかかわり 乳製品、自然、水	選ばれて！ 「日本一」をたくさん体感してほしい！	図で説明されている...		①食文化体験 ②地域文化体験 ⑥景観

44	ニジマス、水、わさび	富士宮「市の魚」であり 日本一の生産量のにじまを食べる。	豊富な富士山の湧水で育てられたにじマス。 富士山に降って雪や雨からミネラルを吸収して水温が安定しているため養殖が盛んだ。 フライやお刺身、カルパッチョ、なめろう、塩焼き、こうし焼きなど。 同じくミネラルを多く含んだ水でわさびはすっきり辛さが特徴です。	・ にじマス ・ ミネラル ・ 水温	①食文化体験
45	(養蚕→) 絹織物 吉田うどん 富士山北麓のアカマツ林 青木源樹海の風穴・氷穴 富士道 うだが	吉田から樹海までたどってもらい 文化と風景が繋がっていることを体験してほしい	養蚕→絹織物 女手がとられ男がうどんを打った→硬い吉田うどん →産業が食文化に与える影響 →クワ畑、産業に必要なマキ→昭和になって使われなくなりアカマツ林に そろそろ寿命を向かえるアカマツ このあとどう いう森に？ →産業が風景に与える影響 蚕種を冷やすために同穴を利用 →自然災害でできた造形物を産業に利用するたくましさ 織物のルート～信仰の道に	・ 養蚕→絹織物 ・ 女手が取られて男がうどんを打った ・ 産業と食文化 ・ アカマツ ・ 洞窟の利用 ・ 絹物のルート	①食文化体験 ②地域文化体験 ⑥景観 ⑦火山・樹海・洞窟
46	2000m超 毛無山山頂空域 + 富士山と同じ目線の眺め	スカイスポーツの 「パラグライダー体験」できればライセンス取得コースもオススメ	・ おそらく日本一体験者が多いエリア ・ 日本ではめずらしく、通年フライト可能→駿河湾からの南風が入る温暖 →他エリアは冬クローズ ・ 日本選手権は毎年12日に開催 ・ 2009年には世界選手権も開催され、世界のトップアスリートが来日 ・ 条件が良いと標高1000mの離陸場から2000m～2500mの高さまで ・ 富士山とほぼ目線が同じで雄大さ、エネルギーを感じる ・ 体験フライト1万円の価値あり、1時間あれば終わるので、プランに入れやすい	・ パラグライダー体験者数日本一 ・ 通年フライト可能 ・ 1時間の体験＝1万円の価値 ・ 富士山の雄大さとエネルギー ・ 標高1000mから2500mの高さまで	⑤陸湖川空アウトドアアクティビティ体験 ⑥景観
47	"食"ほうとう、吉田うどん の本当の姿	飲食店で提供される ご馳走ではなく、米が作れなかった雑穀地域の文化から「足るを知る」	昭和以前の雑穀地域の日常食「ほうとう」「うどん」の本当の食文化を伝える世代に 手作り体験してもらう。 「ほうとう」は水道が整備されていない時代により少ない水でひとつの鍋で作る 省資源型の食文化であること～	・ ほうとうとうどんの食文化 ・ 省資源	①食文化体験 ②地域文化体験
48	森林を活用した暮らし の文化を体験	森づくり～木材活用～ものづくり体験	・ 河口湖大石まなびの木土は海外からも長期滞在をして家具作りをする人が居る ・ イヌのコレクション展示は見て、デザインが生まれた背景などを知ることができる ・ 放置林を活かした里山にする活動はお推めの体験	・ デザイン ・ 家具作り ・ 活かした里山に再生	②地域文化体験